

(社) 日本地すべり学会関東支部

2012年 ニューズレター

■ (社) 日本地すべり学会関東支部総会・シンポジウム・意見交換会の開催

平成 24 年 4 月 20 日、東京大学工学部武田先端知ホールにおいて、関東支部総会とシンポジウムが開催されました。総会は、(社) 日本地すべり学会関東支部平成 24 年度役員名簿、平成 24 年事業計画(案)、平成 24 年事業予算(案)の各議案が満場一致で承認され、総会は無事終了しました。

午後からのシンポジウムは、「東日本大震災での関東周辺の土砂災害」を中心に下記 4 つの御講演をいただきました。御講演いただいた各先生方、関係各位および来場者に御礼を申し上げます。

- ① 「東日本大震災：北関東周辺地域における地すべり被害」
：群馬大学大学院 教授 若井明彦
- ② 「平成 23 年 4 月 11 日福島県いわき市を震源とする震度 6 弱の内陸地震にともなう斜面変動」
：帝京平成大学 准教授 佐藤剛
- ③ 「東北地方太平洋沖地震により栃木県で発生した斜面災害の特徴」
：国土防災技術株式会社 関東支社 環境保全部長 東康治
- ④ 「東北地方太平洋沖地震により茨城県で発生した斜面災害の特徴」
：日本工営株式会社 流域・防災事業部 副技師長 上野雄一

本シンポジウムは、東日本大震災において発生した土砂災害、特に関東地方および福島県で発生した土砂災害の形態やメカニズム等について詳細な報告をいただき、有意義な討議となりました。

若井先生からは、長時間地震動と液状化判定をテーマに、自然斜面でも時間の地震動により液状化した可能性があること、その要因として強度低下し易い地層の存在や、水みちや地形での増幅効果等について講義いただきました。

佐藤先生からは、3 月 11 日の本震よりも 4 月 11 日の余震による斜面崩壊が多かったことや、断層等の位置関係についても説明がありました。

また、東講師からは、栃木県内の斜面災害の実態と特徴および 2 次災害について具体例をもとに詳しい説明をいただきました。

最後に、上野講師からは、茨城県内で発生した斜面災害の地形、地質的な特徴について詳しい説明がありました。



写真 1. 総会状況



写真 2. 総会会場



写真 3. 若井先生の講演



写真 4. 佐藤先生の講演

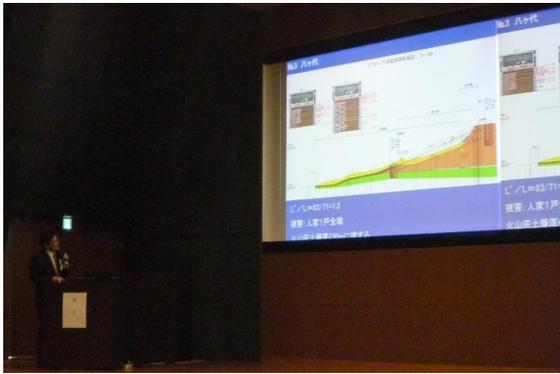


写真 5. 東講師の講演



写真 6. 上野講師の講演